

【準特選】

他の人とちがう弟

浜小学校 六年 池田 茉花

私の弟は「発達障害」という障害を二人生まれつきもっています。そして、弟と過ごしていると、弟のような障害をもっている人は普段からどのような生活をおくっているのか、弟のように支援学校に通っている人はどのような障害や生活なのか気になったので、このようなテーマにしました。

一人の弟は「自閉症」という障害をもっていて、話し方などが他の同年代の人と比べると、質問していることとちがうことを言ったり、言葉を言うときに、二文や三文など少しのことを話したりしています。そして今は、特別支援

学校に通っています。もう一人の弟は、「ADHD」という多動性などの障害をもっています。話しかけても何かに集中していて反応しなかったり、落ち着きがなく待てなかったり、同じ食べ物しか食べないなどの症状をもっています。

そこで私は弟のような障害をもち、支援学校に通う人の苦勞や障害について調べました。すると、「学習内容に偏りが生じやすい」や「進学先が限られる可能性がある」など様々な苦勞やデメリットがあることが分かりました。それに、知的障害や言語障害、弱視、難聴などのいろんな障害をもっている人が通うところだと知りました。それを知って私は、障害をもっている人は、様々な苦勞や困難にあったり、乗りこえたりしたんだなと思いました。

そして私は、もっと深く調べてみると、「いじめ」にあっただという人が多くいることが分かりました。「冷やかし」や

「からかい」など差別をするようないじめがあったことを知りました。弟は今のところそのようなことはあっていないけど、いつかこのようなことがあるとどうなってしまうのかと思いました。

そこで自分にできることは何か考えると、「相手を思いやる気持ちや自分を大切に思う自己肯定感などが大切だと知り、相手を思いやる気持ちなどは自分にもできるのではないかと思うので、自分にできそうだと思うことは行動していこうと思いました。これからの課題として、まずは、自分自身がいじめをせず、それから世の中の差別意識をなくしていくことが、今後の課題だと思います。